

<開催概要>

- ・日時：令和5年10月3日（火）午前10時00分から
- ・会場：鯖江市役所 4階 第2委員会室

・議事

1. 開会

2. 議事

- (1) 基本目標1の各施策実施事業、事業内容およびKPIについて
- (2) 基本目標1のKPIおよび目標のタイトルについて

3. 閉会

・配布資料：

- 資料1 基本施策1～5（案）、基本目標・基本施策の体系図
- 資料2 基本目標1

1. 開会

2. 議事

(1) 基本目標1の各施策実施事業、事業内容およびKPIについて

資料1・2・3を事務局より説明

基本施策1について

委員	基本施策1 地場産業の技術を活かした新産業の創造について、意見を頂きたい。目標期限はいつか。
事務局	令和10年としている。
委員	KPIのところで、現状19を目標31と端数の数字にしているが、イメージや根拠はあるのか。
事務局	1年で2件を目標としている。
委員	これまでの実績はどうか。
事務局	多い時で3件、少ない時で1件が現状である。
委員	「デザイン経営セミナー」は、今年度から取り組んでいることであるが、今後も重要な取組となるため、これに関連した目標をつくってKPIにすると良い。デザイン経営は、新産業まではいかないが、既存の地場産業からの新たな経営等を考えて頂くことを目的としており、目標があると良い。
委員	総合戦略に目標を載せるかどうかはあるが、事務事業としての目標はあるのか。
事務局	事務事業で目標はある。
委員	「デザイン経営セミナー」は、デザインシンキングの手法を入れて、経営全体を新しい切り口で取り組んでいくものであり、今年度から勉強会を始めている。
事務局	新規の商品開発やサービス開発など、プロジェクトで取り組んでいる。
委員	基本施策はKPIが一つしかない、増やしても良いのではないのか。
委員	数としてあって良い。今後、5年間で力入れて取り組んでいくなら、KPIとして示しても良い。逆に言うと、現状維持ならばKPIを変えても良い。事務局で検討して頂きたい。
委員	当初から寄せてもらっているが、範囲が多岐に及び、かつ関連性が相互にあり、難しいところがある。全体的な話になるが、KPIが雑なイメージがある。内容が多岐にわたって、数が多く、何をどうして良いか分からない。これというものに絞っても良いのではないのか。多くのことをやろうとしても、非常にパワーが足りない。取組を絞ることはお互いにとって良く、市民への訴求力も増すのではないのか。
委員	大事な意見である。他の分科会にも言えることであり、他の分科会からも意見があれば検討頂きたい。
事務局	確認であるが、基本施策に対して取り組む施策と事業があるが、分散されているというのは、事業を絞りこんだほうが良いということか。
委員	そのとおりである。やらなくて良いわけではなく、全国どこでもやっていることを敢えて出す必要はない。また、KPIもリンクしていない感じがする。いきなり海外の話があったりするが、創業の中、女性の個人商店、生活できるというレベルではない。そこに対する発信力がある。1について、「デザイン経営セミナー」で言えば、

	<p>何のデザインなのか、対象の業種は何か、繋がりが見えてこない。</p> <p>この5年間の、例えば2年目で内容が変わっても良い。昨年度から、K P I の数が多すぎると感じているが、例えば、ここの事業内容は実効性のある活動なのか。3件がK P I として相応しいのか。1個に絞れていない。取組を集中できるように、関連性を固めておくことが大事で、目標が多いと動きが鈍くなる。一つ取り組んで、そこから広がっていくイメージのほうが良い。</p>
事務局	実際には様々なことに取り組んでいる。
委員	<p>やるが多すぎるとアイデアも分散する。良いことができない。一つの取組から広がっていく、アイデアが広がっていくイメージが良い。5年間で、K P I が達成できたから何か変わるかと言うと、現実的には変わらない。</p>
事務局	他の分科会でも、そのような意見が出ていることを報告したい。
委員	<p>K P I の数は多い。実際、幾つあるK P I のうち、何個達成したかで評価される。大事な部分はあるが、メリハリが大事である。今回の総合戦略は3期目になる。これまでやろうとしてきてできなかったこと、しないといけなかったことを達成すること、そのためにどこに注力するかを検討するべきである。</p> <p>ロジックツリーのように、様々な事業がどのように関連しあって、どの目標に繋がるか、作業は大変だが、ロジックツリーはあったほうが戦略は作りやすい。たくさん事業がある中で、実施事業・内容のメリハリの付け方、この中で特にというものを重点事業とするなど、今回の総合戦略のポイント、特に注目すべきものがあつたほうが良い。</p>

基本施策 2 について

委員	<p>基本施策 2 既存産業の高度化について、意見を頂きたい。</p> <p>委員がやっていることや、鯖江市は I T のまちと言っているが、その辺りのニュアンスがあると良い。前回でも、プログラミングの話などの意見があつた。1 週間の間で反映できないところもあると思う。</p> <p>K P I のところで、採択件数が 1 件から 5 件となっているが、採択件数は 1 社につき 1 件ということか。とても大事な取組ではあるが、1 桁で良いのか。</p>
事務局	補助事業の件数になっている。年間 1 件ずつを想定して事業の予算配分をしているのが現状である。
委員	上限額はいくらか。国庫補助が付いているのか。
事務局	上限は 2 0 0 万円になる。国庫補助が付いている。
委員	今までは、A I と I o t はセットで扱っているが、今は、誰でも無料で生成 A I をつくれる時代になっている。A I は取り出して、高度化に活用する方向が良い。感覚的に、A I と I o t は分ける方向が良い。
委員	主だった企業が自力で取り組んでいるところもある。補助金に頼らないところもある。補助金だけでやっていける時代でもない。鯖江市全体で、活用していくのであれば、ノウハウ的な支援など、違った目線で支援が重要である。
委員	C h a t G P T は、短期間で爆発的にユーザーが増えたが、そうした流れに対応した施策が重要である。民間は勝手にやっていけるだろうが、早く活用したほうが良いですよといったアナウンスはしたほうが良い。
委員	国の補助金要件が理由でそうなっているのか。
事務局	市の補助金の名前である。

委員	市の補助金件数が正なのかどうか、違和感がある。これからの5年間なのに、この立ち位置なのか。新たに施策を展開するのか。
事務局	地場産業のDX支援など、大きなことをできないところを様々な角度からの支援している。小規模事業者向け、資金的な支援もある。
委員	全体の話として、攻める、上げる、稼ぐといった方向に議論が集中しているが、地元の銀行として、企業が切実な問題として感じているのは、一人親方でやっているような事業者で、親父が死んだら終わりというところが多い。こうした事業者は攻めに行けない。税金関係の事務などを対応していくことがストレスになっている。事業者が本当に求めているところを押さえないと、中途半端になる。高度化の裏には、本当に事業者が求めている悩みがある。
委員	事業承継の話については、今回の総合戦略には盛り込んでいないのか。そこがないと持続は難しい。
委員	本人が死んだらどうするかといった会社は結構ある。なかなか対応できない。
委員	会議所でも個別に経営相談をしている。事業承継の話は、先日、NHKで福井県の事例が出ていた。名前出しても良いので、承継していきたいところはある。事業承継は目玉・柱にしないといけない。
事務局	事業承継については、基本施策1で上げている。市でも、経営指導委員が1名おり、いろいろお聞きしてマッチングしている期間もある。
委員	事業承継はデリケートな話である。銀行とか伴走しているところでない、中々本音は言わない。そういったところを後方支援する形が良い。
委員	新産業の位置付けというより、持続可能な操業になる。誰かいないと事業は続けられない。どこに入れるかは検討して頂きたい。
委員	事務を取れるところがない。銀行OBで事務とれる人がいないかという話をよく言われる。一人で営業も現場もしている人が多い。事務を任せられると、高度化に関わる余裕ができる。
事務局	基本施策5は農業に絞っているが、事業承継や持続可能といった言葉の中で、内容を変えることも考えられる。
事務局	ITのまち鯖江や、プログラミング教育の意見、落とし切れていないので事務局で改めて検討させて頂く。工夫して、入れていく方向で検討したい。
委員	昨日、デジタル推進課の方々と、オープンデータをどうするというミーティングをしたが、まず役所を変えていかないと企業はしない。市も一緒にやっていくことを見せないといけない。役所は仕事がいっぱいだとよく言うが、民間も同じで、もっとせっぱつまっている。すぐは無理だが、専門的なところは外部から人材を入れたらどうかと思う。
事務局	プロフェッショナル・民間の力を借りることは検討しているところもある。KPIとは違う部分になるが、市が率先していくご意見は当たり前のことであり、しっかりとやっていきたい。
委員	事務員をとるのは無理がある。コストがかかる。西粟倉村では、何社かまとめて事務を付けている。5社分10社分くらいなら1日でできる。そこを誰かがやるのは良い。
事務局	サテライトオフィスの誘致もそうであるが、スタートアップの数を増やしていきたい。実際、その人達が望むところならやっていかないといけない。
委員	会議所では創業塾を開催しており、今年も4回開催している。修了者は28人になる。創業者を増やしていかないといけない。創業塾後、実際の起業までのフォロー

	アップが課題である。今までは創業までの支援であるが、開業するまでのフォローアップも盛り込んでいただきたい。
委員	新しく業を起こすことは、新産業ではないが、産業と起業は違う話である。事務の話もある。
事務局	基本施策1と基本施策3に入れてある。

基本施策3について

委員	基本施策3 若者に魅力ある働く場の確保について、意見を頂きたい。
委員	サテライトオフィスは、がんばってやらないといけない。以前、県と一緒にやっていたが、今は県が営業できていない。目立つことが効果的である。目立てば企業は勝手に来る。コロナ禍で仕方ない部分もある。 同時にやっていくこととしては、働く場所と人材確保が重要である。ハロワークとの連携なのか分からないが、そうしたところ一緒に見せないと企業は来ない。
委員	②UIターン、支援事業とあるが、鯖江市の取組は見えない。越前市はこの課があり、やっているイメージがある。
事務局	基本的な市のスタンスとして、まちの魅力を伝える中で、お金なしでも来てもらえるところを大切にしたいと考えている。コロナで弱まっている部分もあり、100万円の支援制度が出てきている。越前市と同様の、住宅新築100万円補助は市でも検討しているが、たちごっこになる恐れがある。
事務局	以前は発信ができていたが、コロナ禍で弱まっている中で、ようやく先日のSDGsフェスなど、SNSで発信もできるようになった。若い子にどう魅力を伝えるか、人、エンターテイメント、鯖江の魅力を伝えることが関係人口・交流人口、定住に繋がる。
委員	河和田では70人くらいは他所から来ている。もっとやっている感を出せば良い。
事務局	河和田では来てくれる人以上に出ていく人が多い。表に中々出せない。増減だけだと減になる。表現として、まちの元気をアピールする中で、上手に発信していかないといけない。中々RENEWだけでは難しい。
委員	先日の片木さんもフランフランの高島さんも、どちらも鯖江の人だと思って見ていた。
事務局	鯖江発信が良いが、実績をもとに表現も変えて、市もやっていく。
委員	企業誘致やUIターンの話とリンクするが、住む場所がほんとにない。越前市は新築にお金を出す方針をやっているが、空き家が増えている中でどうかと思う。若い人のマイホーム主義、ローンを組んで新築立てたいのマインドを何とかしたい。空き家の活用、何とかしないとイケないが、情報が本当でない。鯖江市の空き家バンクも少ない。
委員	リノベーションや空き家問題をテレビで取り上げていて、新築より安くできるようになってきている。市内だと榊原建設が空き家のことをやっているが、費用を掛けるところは費用を掛けている。若い人を捕まえないといけない。
委員	空き家を活用しないとイケないと、みんなが言わないと新築の動きは止まらない。今後は、資本主義ではなく循環型の資本主義が大事になる。家の問題は必須である。古民家やりたい人もたくさんいる。うちの家使ってもいいよと言ってくれる人がいるかもしれない。自然残していくことが大事。やっていくことで、みんなのマインドも変わる。

事務局	行政的には、新築は固定資産税が入る。SDGsの視点からであると空き家の活用は大事であるが、市内の空いている家はほとんど使えない。お金を掛けないといけない。地域性的な問題もある。河和田もそうであったが、近所付き合い、区費の問題など、田舎ならではの問題がある。人付き合いの問題など、若い人は厳しい。今では河和田は普通であるが、若い人に苦勞を掛けさせたくない。
委員	神山とかもそうであるが、会社なら見込みがある。地方にいくとそう。物件がない問題はどうしたら良いのか。
事務局	中途半端な田舎ということだと思う。
委員	移住される方も利便性は重視する傾向が強い。
事務局	田舎よりも、企業はまちなかのある程度便利の良いところを望む。河和田の空き家は企業向けではない。おっしゃるとおり、空き家は増え続けている。
委員	空き家の話は基本目標の4になる。この分科会で意見があったことを報告頂きたい。
委員	企業立地工場の件はどういう話か。
事務局	企業立地に対する補助がある。基本的に対象となるのは大規模なものになる。
委員	サテライトオフィスの50件はハードル高いのか。
事務局	需要はどれくらいあるのか。設備投資のバランスもある。低いハードルではない。市内の企業が市内の新たな場所に工場をつくる場合も対象になる。

基本施策4について

委員	基本施策4 女性が輝くまちの創造について、意見を頂きたい。
事務局	KPIの成果指標、空欄のところは、「女性が輝くまちの創造に満足している人の割合」は80%、「職場において男女の扱いが平等であると感じている人の割合」は70%、「審議会等における女性登用率」は45%としたい。
委員	今、会社経営の中で言われているのが「健康経営」である。アンケートでもあるが、女性だけではなく、従業員全員の働き甲斐が大切であり、周りの理解も含めると、「健康経営」を入れてもらったほうが良い。女性は違うという雰囲気もある。
委員	「女性が輝く」という言葉はもやもやする。下駄はかせられている感がする。
委員	課の名前もダイバーシティ推進課に変わった。
事務局	男性、女性の時代でもない。変えれば良い。委員のみなさんのご意見で良い。
事務局	女性に特化した表現は過渡期の話の感じがする。
委員	全ての表現を変えることはできないが、女性を前に出さなくて良い。
委員	今日の福井新聞の論説にもあったが、結局、女性はパートが多い。子育て中は仕方ないが、それ以外にも多いのか。子どもがいない段階でもパートが多いということか。
事務局	最近ニュースになっている106万円の壁の話である。理想として、自分の小遣い稼ぎ程度は働き、子どもは育てたいという人は一定数はいる。
委員	パートナーシップ制度に関してであるが、事実婚はどのような考えか。
事務局	個人的には進めたい。他市の状況等も確認していきたい。 制度を始めて半年がたったが、1年経ったら制度の見直しのタイミングになる。課長も前向きであり、他所がやらないからやるのことに意味がある。
委員	市長も同じ考え方か。

事務局	市長においても、その理解はある。制度は完璧ではない。様子見のところはある。制度だけ先走りするのも良くない。しっかりと考えていきたい。
事務局	パートの方、男女問わず自分らしく生きることに向けて、キャリアアップを計画的に考えられるセミナーも検討している。
委員	女性起業家を増やすこと、キャリア支援は非常に重要である。
委員	昨年から会議所も一緒にやっている。これまで2回やっているが、今後も続けていく。
事務局	創業支援ネットワークがあり、会議所などの支援を受けて起業している方のネットワークがある。自分で起業されている方もいるため、取りこぼしもある。完全には拾い切れない。
委員	質問であるが、目標値は累計値か。実績値から33人増やすという意味か。
事務局	累計値である。数値に対して、創業するけど3年続ける人はいない。そのような状況の中で、目標値は難しいところがある。
委員	女性だけでなく、男性も同じである。数字がとれるとれないの話も大事である。
事務局	補足であるが、KPIのところ、市役所育児休暇率の目標値を85%としているが、これは国が掲げた85%の目標に合わせている。国は国で、市の目標としては100%に修正する。
委員	市役所では全員育児休暇をとっているということか。1日でもとったら良いのか。
事務局	育児休暇制度を活用したかどうかでカウントしている。
委員	中小企業は本当にやっていない。
事務局	市も育児休暇をやれる環境ではないが、年休よりも育休を取得するように薦めている。
委員	福井銀行でもほぼ100%である。その他にパパ活躍休暇など、休みはかなり多い。
事務局	育児休暇をとるための環境整備が大事である。
委員	若い子は福利厚生を重視している子がほとんどで、金融で地域創生する意識の子は少ない。権利は主張する子が多い。そういう状況であるため、何をするにしても、若者を集めることはできると思う。 昔は金融機関で働いていた場合、他の金融機関は出入り禁止だったが、今はそんなことはない。他の業界もそうだが、人流が激しい。経験者は専門的などころができるので来ていただくところが多い。去る者追わず、来る者拒まずといったところである。若者に迎合するのもどうかと思う。今、名高る企業はブラックである。厳しいところを出すことも大事である。ブラックな部分に憧れるところもある。ゆるゆるの環境は良くない。
委員	若者は数が減って、取り合いの状況である。
委員	社会も会社も、メンタルに気が向く。頑張っている人が報われるようにしないとイケない。そのための施策があったほうが良い。
委員	そうした方を後押しできる施策があると良い。
事務局	タイトルの部分、「女性」はとる方向で検討したい。キャッチフレーズの部分は変わることをご了承いただきたい。
委員	基本目標1のところの地場産業も同じである。眼鏡が大事なのはわかっている。今更言わなくても良い。
事務局	最先端技術など、もう少し大きなことがイメージできる表現に修正する。「もの」

	という言い方はするかもしれないが、ものづくりをベースに、「こと」、「ひと」が付いてくる。特定の地場産業に拘るつもりはない。
事務局	眼鏡以外は認めてもらえないと誤解が生じる恐れもある。

基本施策5について

委員	基本施策5 楽しくてもうかる農業経営の確立について、意見を頂きたい。農業の表現は変わるかもしれないということである。本日、欠席の委員は農業関係の方であるため、別途、意見を頂いてほしい。
委員	スマート農業の経営体について教えてほしい。
事務局	専門家の人を入れて取り組んでいる。今のところは1企業だけである。
委員	そうした取り組みが横断的にできると良い。
事務局	今後、後継者不足等もあり、スマート農業に力を入れることが大事である。えこふなさんは国の事業もやっているが、新規就農者がハードル低く入っていける部分も必要と考えている。
委員	吉川なすはG Iマークを取得しているが、他の地域団体等の取組はあるのか。
事務局	G Iマークは吉川なすだけである。他に、お米、ブロッコリーなども取り組んでいるが、地域の名前としては川島ごぼうがある。
委員	G Iマークを付けた場合、売上げの伸びはあるのか。
事務局	吉川なすは真贋判定をしている。デジタル・QRコードで特別な差別化もやっている。
委員	経済的なメリットはないということか。
事務局	実験中の段階でもある。今は45,000個くらいである。そこから収量を増やすのは課題である。
委員	差別化は大事であり、第2の吉川なすをつくるかどうか、ここに書くかどうかということになる。
委員	六次産業化とは違うということで良いか。
事務局	六次産業化とは違う。加工品をつくるわけではない。
委員	鯖江ブランドの代名詞は、農産物もなり得るものである。そうした取組があると計画の特徴が出る。
事務局	生産者が少ない、数量がとれない、販売できない、流通に乗らない、追いつかない、伸びがないといったことが課題であり、時間掛けてやっていくと生産者も高齢化していく。持続可能は農業も必要である。ものづくり産業全体的に考えていく。
委員	新規就農者の22人はどういう人か。
事務局	国、県、市の補助金を活用して就農された方である。宮本農園の娘さんなどである。自分で農業するだけでなく、農業の企業へ就職した方も含めている。
委員	海外の人はどうか。
事務局	海外の方は入っていない。他の市町はある。研修生は入っていない。今後、外国人の就農者は出てくると思われる。
委員	地産地消も難しい。規格外の野菜を販売されている事業所もある。
事務局	鯖江だけの販売ではない。
委員	農業全体を考え、鯖江から広げる視点があって良い。

事務局	事業所1社のみへの支援は難しい。農家の廃棄をお金にすることは大事であり、市のほうでもお手伝いできるところがある。鯖江だけで規格外は無理。量がない。
委員	農業関係の委員が欠席である。追加で意見を聞いて頂きたい。

(2) 基本目標1のKPIおよび目標のタイトルについて

委員	基本目標1全体のKPIとタイトルについて、意見をお願いしたい。眼鏡や漆器という表現はなくなることになる。
委員	対象はどのような考えか。
事務局	年齢構成としては40歳までの方の回答をクロス集計している。
委員	仕事をしていない女性を含んでいるのか。
事務局	含まれている。
委員	現状の81.5%、目標83%は誤差の範囲のような気がする。
委員	満足度がそもそも高い。
委員	このような回答の実感はない。信じられない数字である。この結果は、超優良企業の職場の回答である。
事務局	様々な企業があり、企業によって違う。
委員	鯖江の自慢になるような状況だと思う。
委員	ニュアンスは現状維持ということか。結果はPRできるため、上の文章にも書いて良い。
委員	これが一番大事なものになるという理解で良いか。
事務局	5つの基本施策をまとめた基本目標1の目標になる。
委員	他の年代の人はどのような回答か分かるのか。
事務局	全体で76.1%である。
委員	若者に限定しなくて良い。若者だけを見ているのは良くない。
委員	みんなで良い。いろんな世代の人が答えれば良い。
事務局	若者や女性など、特定している表現は改めて検討していく。
委員	資料3はあるのか。
事務局	資料1と2のみである。
委員	本日の意見を踏まえて修正することになると思うが、農業に関しては追加で意見を頂いてください。みなさまから頂いた今回の意見、軽微なものから大きなものまであるが、修正案を確認する会合を持つかどうかについて、意見はあるか。
委員	修正案を送って頂いて、意見があればメールで連絡することで良い。
事務局	4分科会が全て終わって調整する。メール等のやり取りをさせて頂く。
委員	国に言われて今更というところもある。そうした部分が鯖江モデルである。前回の会議ではダメ出ししたが、良いものは全面に出してほしい。課題解決と未来をつくっていくこととは違う。プラコンでは課題解決型から未来創造型へと言っている。
事務局	引き続き、検討していく。
委員	全体は他の分科会でも意見を頂くこととして、他の分科会での意見があればこの分科会に連絡を頂きたい。よろしくお願ひします。

	追加の意見があれば事務局までお願いしたい。
--	-----------------------

3. 閉会

委員	以上をもって、鯖江市総合戦略推進会議第1分科会を閉会とする。
----	--------------------------------

(以 上)